

「四国・多文化共生ネットワーク」の構築に向けて

～ ウクライナ避難民支援の現状と四国の多文化共生社会づくりを考える情報共有・勉強会 ～

日本の在留外国人は、法務省データによると、2021年末で276万635人となっており、194のさまざまな国籍・地域の人々が日本各地で暮らしています。

四国では、少子高齢化が加速するなか、2017年(33,352人)、2018年(35,288人)、2019年(39,365人)と増え続けました。その後、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020年(39,114人)、2021年(35,337人)と減少しましたが、地域の産業を支える技能実習生の方々を含め、多様性を認め合うことができる「多文化共生社会づくり」が必要とされていることに変わりはありません。

このような中、今年2月にロシアのウクライナ軍事侵攻が起き、多くのウクライナ避難民が発生、ポーランド、ドイツ、チェコ共和国などの国々が多数のウクライナ避難民の受入を行っており、心が痛むニュースを毎日耳にしています。日本でも今年10月までに2,000人近くの受入を行っており、四国にも避難民の方々が暮らしておられます。

こうした社会の大きな変化を目の当たりにしながらも、なかなか動き出せない、動き方がわからないジレンマを感じている人が四国に多いのではないのでしょうか。私たちは、誰もが暮らしやすく、魅力的な四国地域を創造するために、共に多様性を学び、多文化・地域共生のために支え合うネットワークの構築が必要ではないかと考え、準備会を発足しました。

四国で、包摂と多様性がもたらす持続的な社会の構築に向けて、まずは、興味・関心のある皆様と共に、ウクライナ避難民支援と多文化共生社会づくりに関する情報共有・意見交換を行いたいと考え、下記の通り、オンライン会議を開催することといたしました。ぜひ、ご参加ください！！

記

1. 日 時：2022年12月21日(水) 14:00-16:00
2. 場 所：オンライン (Zoom)
3. 参加者：①四国のウクライナ避難民支援に興味・関心のある方
②四国の多文化共生社会づくりに興味・関心のある方
4. 参加費：無料
5. 申 込：12月19日(月) 17:00までにメールで wakuwaku@egn.or.jp までお申し込みください。
前半のみの参加もOKです。参加申込者には、後日、Zoom アドレスを送ります。

6. プログラム：以下の通り（2022年12月8日現在）
* 予定変更の可能性もありますので、予めご了承ください。

14：00-15：10 【前半】

- ・開会・趣旨説明
- ・情報提供（4県×7分）
 - ①ウクライナ避難民受け入れ状況
 - ②在住外国人に対する多文化共生の取り組み
- ・講演（石川えり・認定NPO法人難民支援協会代表理事）25分
「難民支援の視点から考える多文化共生（仮称）」
- ・情報提供（10分）
 - ①ローカルSDGs 四国
 - ②多文化共生型減災社会づくり分科会

（休憩5分・ブレイクアウトルーム設定）

15：15-16：00 【後半】 自由参加

- ・意見交換（30分）
- ・発表・共有（10分）
- ・本準備会への参加案内、アンケート、閉会（5分）

7. 主催：四国・多文化共生ネットワーク準備会
【発起人/賛同人名・順不同】
- ①Women's Empowerment Initiative（特定非営利活動法人徳島の女性を元気にする会）
 - ②特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
 - ③特定非営利活動法人Community Life
8. 協力：独立行政法人国際協力機構（JICA）四国センター
9. 連絡先：ローカルSDGs 四国・多文化共生型減災社会づくり分科会事務局
特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク（担当：光宗）
住所：790-0803 愛媛県松山市東雲町5-6
電話：089-993-6271
e-mail: wakuwaku@egn.or.jp

以上